

单身、墓地へと潜入した解放仮面。

様まどか東く
異く、焼は遠
く遠く、まが
つく、まがこ
になか、こに
鼻のと、こに
た、ん、因、こ
した、な、原、
で、の、炎、つ
で、い、の、お
間、て、い、か
空、え、血、置
下、生、が、に
地、が、か、に
広、ノ、こ、側
っ、ノ、西、の
だ、キ、の、寂
は、す、る、間
は、光、て、い
こ、光、る、き
そ、は、倒、れ、
と、に、か、が
の、壁、死、一
降、の、ソ、一
り、の、ソ、一
か、下、人、な
一、地、に、て
ろ、ろ、え、最
タ、り、こ、生
ー、お、ど、が
レ、お、ど、が
ベ、か、ろ、こ
エ、の、こ、み
た、血、に、シ
り、は、ろ、づ
降、い、せ、ろ
へ、お、渡、ど
下、に、見、あ
地、な、で、こ

か東あゝあが
焼らゝが骸
でか休る何死
炎間死あはな
り空ろで大
た一目巨
れ地はヨ
たる裂る
段このいく
にあ面うて
コの一の地クッ
ポ一にな一がる
コタ聞き夕上い
ボ一の大はりらて
べどはりらて
レなにあ方る
た。工箱側上のため
だ。石南以下の下
うた。のト下る
つた。間一い
うた。広一おほ
たて下フにおほ
たて下60の壁
つた。地60の壁
あがのは様目
がが広下異け
は。闕かの裂
は。戦間た自た
つて空うけんた
を。をよ裂ない
ク。天た。し。句
一。巨。つだかた
まるにあうしつ
のいらがよ。腐
家。で。闕ない
家。ん。戦けな
死。も。行えう
て。て。で。目。早
は。り。か。下。く。の
体。た。と。か。か。る
死。れ。へ。る。こ。の。あ

り東きな
降。てう
とるつよ
一いがる
いて上え
フいらこ
60.続か
と、方ら
煙のか
く洞下
いには
て、面異
り方異
降西。と
向はう
方らよ
下かる
てろけ
いこ行
つとに
ばらな
へ平ら
にさ鼓
壁たの
が、着
ろに
しろ
Climb
Spider
がでり
面、切
飯こ、
解た、
側、

東側の切り立った崖をさらにはSpider Climbしながら下に行くと、120 フィート降りたところで崖の正体が現れた。崖の下に大きな落ち穴がある。蜘蛛の死骸が散らばっている。この前倒したBlue Dragonの痕跡は、ここから南西の方向にすすめるように感じ。

[illegible]

私いあでま
ざ。ざ。ざ。り
いごんにお
さでせなて
く候まんし
く斤いど負
しいさめ目。
許なたととる
おがはのる
をしでにあし
礼の訳様で話
非だたユのに
かたいシもつ
うでた方のよ
どんぐらつう
様、参差とよ
く迷とほうね
カでなと損
ラつうと私を
ド追うるは嫌
アをしき
る跡かでしと
な足しに關
大のがめにう
偉たは私とよ
せん間になれるで
ま人体あめと
いう遣で潜こ
さいこのを
ごとの身て
訳様け。立
しは方だうに
申ら貴たよ役
はにししまで
はにししまで
放す。い。
飯こ。おなき
解は手あもす。

[illegible]

下までで、ま
 間り憑てたい
 人あ魔しい
 うも、無見ま
 い非、の、い
 と是、の、さ
 イは、私、ご
 ラなれし、ど
 ジとなす、う
 一とおま、ど
 バーとい、な
 るけ、様、い
 いて、シ、も
 て、頂、に
 え、シ、え、ま
 構、フ、足、き
 を、滅、の、揺
 と、を、ア、揺
 こ、め、だ、シ、光
 と、ら、ち、シ、威
 々、奴、が、カ、御
 我、で、う、達、の
 そ、お、ト、ア、様
 こ、お、仲、は、ユ
 魁、の、ま、は、シ
 首、様、せ、れ、カ
 の、員、日、あ、ラ
 味、シ、て、先、て、ラ
 一、カ、せ、く、体
 の、ラ、奇、く、1、ア
 「そ、ド、ビ、恐、の、も
 「ア、呼、び、だ、て
 る、な、に、の、た、し
 る、な、に、の、た、し
 え、大、こ、う、な、た
 答、偉、と、い、も、し
 が、ア、こ、と、き、逃
 面、さ、き、き、逃
 仮、ま、童、取、1、体
 放、り、め、青、取、れ
 解、あ、せ、の、は、あ、せ

1

調べてくることをご容赦頂けないでしょうか？」

それを聞いたドラゴンは「あははは！死におったか！ざまをみろ！」とご満悦。「よい。よい。奥に行くがよい。」と言っています。というわけで奥の方に進んでいくと、洞窟の先の方からなにやらはの明るい光が見えてきます。なんだかチラチラ暗くなったり明るくなったりして、不気味な雰囲気。

先に進むと大きい黒い鎧が空を飛んで見張っているようだ。幸いにして目が利くわけではなさそうなので、さらに隠れながら先に進む。

先には紫で半透明な女がいた。元・マハザラの Cleric のようだ。Common が通じるようでいろいろと話をしたが、我々のレリックが汚された、この先に危険なものがあるがお前では話にならないという事で追い返された。単身でこれ以上進むのは難しそうと判断した解放仮面はまた黒い鎧をかいくぐりアドラカシュのところまで戻る。挨拶して通り過ぎようとするも、「お前は誰だ！」と言われる。どうやら先ほどの話をすっかり忘れていた様子。再度説得を試みるも失敗し、アドラカシュを怒らせてしまう。Breath を吹かれるが、辛うじて避ける解放仮面。Teleport 避けがかかっているかどうか分からないが賭けの Dimension Door が成功してエレベーターの前まで戻り、そのまま地上へと帰る事ができた。

Silver Raven の面々は帰ってきた解放仮面の話を聞いて、アスモデウス神殿攻略には関係ないと判断し、明日にも神殿に再突入する事を決意した。

なお、スピントルが Share Memory してエレベーターの Infernal を通訳したが、退屈ですねーとか、一人で何しに来たんですか？とか、好きな食べ物はなんですか？など世間話をしようとしていたが、解放仮面が無反応なのであきらめてしまった様子だった。魔法的な仕掛けではなく、幽霊か何かのいたのだろうか。

再突入前

次の日の朝、前日の夜に Teleport でヴァイアまで買い物に行ったスピントルが再度の Teleport で帰ってきた。鐘の破壊に必要な Dispel Evil と前市長のジリアを生き返らせる Resurrection の Scroll を買ったので、さっそくジリアを生き返らせる事にする。ヴァンパイアから人間に戻り正気を取り戻した彼女は一行の質問に答えた。

スピントル Q. 失踪した日に何があったのか？ A. アスモデウス神殿から、他の宗教を禁止するような陳情を受けたが断ったら、その夜にヴァンパイアがきて Dominate された。船でキンタルゴを出たように見せかけ、こっそり戻ってきてからは基本的にはオペラハウスにいた。

シリウス Q. 鐘の力の元となっている Infernal Engine とはどのようなものか？ A. 魔方陣で、中に閉じ込めた Outsider からエネルギーを取る。神殿には二つあり、それぞれリレンドとラクシャサが入っている。

ジェイコブ Q. バージライの側近はどのような人がいるか？ A. バージライに変装していた Bone Devil とノックス

コーディア Q. Infernal Engine はどこにある？ A. どちらも二階

カコルトク Q.Infernal Engine を壊すにはどうすれば？ A. 爆発する方法としない方法がある。しない方法は、中に入っているものを殺すこと。あとは、魔方陣を Disable Device するか、物理的に壊すか、Antimagic Fieldなどで魔法を打ち消すか。

解放仮面 Q. バージライは何をしようとしている？ A.Silver Raven を確実に処分するために、Pit Fiend をこちらの人数分呼んでタイマンさせようとしている。

情報を聞いた一行が再突入の準備をしているとシェンセン達がアスモデウス神殿で何が起こっているのかを聞いてきた。正直に話すと、もはや放っておけない大事なので彼女たちもパーティーを組んで陽動してくれると言う。前衛のシェンセン/オクタヴィオ、回復役のヘタモン、魔法役のマダム・ダカー、そして偵察役のモリー(ヴァイアから駆けつけてくれた模様)。なかなかにすごい顔ぶれである。彼女たちが一階から突入して注意を引きつけているうちに、一行が二階から潜入して Infernal Engine を探す作戦となった。

アスモデウス神殿二階 - 一つ目の Infernal Engine

手はず通り、シェンセンたちが一階で暴れている隙に二階のドアを (Teleport の罠を避けるため) Knock で開け、潜入する。入った部屋は通路のような細長い部屋で、二頭の巨大な Hell Hound が放し飼いにされていたが、コーディアの敵ではなく短剣を投げるとキャンキャンと鳴いて倒れた。

隣の部屋は書庫のようでたくさんの本棚があり、ドーム状になった天井の中央には部屋をのぞき込むような目玉のような模様が描いてある。部屋に入ろうとすると、本棚の上に隠れていた羽の生えた女4人(エリニウス)がおそってきて、Unholy Blight を連打してくる。一匹ずつは大した事はないものの、呪文の連発に結構な痛手を受ける一行。なんとか倒し、隣の部屋へ進む。

次の部屋には九層地獄とそれぞれのルーラーを描いた絵画が飾ってある。絵が気になったジェイコブが近寄ってよく見ようとすると、不意にメフィストフェレスはこのルーラー達を召喚して Silver Raven にけしかける気では、という気分になってくる。冷静に考えるとおかしい話だが、絵の魔力でうっかりそれを口に出しそうになるジェイコブ。しかし。意思の力で耐えて口に出さなかったのが特になんか起こらなかった。特に他の邪魔者はなかったので先に進む。

隣には汚いプール(Scry の Focus のようだ)と机があり、机の上にはいくつかのメモが書いてある。メモには邪魔な Silver Raven を処分するために援軍を、というような内容が書いてある。バージライが使っていた後だろうか。

隣の小部屋を覗くと床に魔方陣が書いてあり、中に弱った様子のラクシャサが閉じ込められている。これこそが探していた Infernal Engine だろう。中のラクシャサはイズマラバシュと名乗り、初めは「ここで私が死ぬのも運命」と達観した様子だったが、スピントルが閉じ込めたやつらを倒すのを手伝ってくれないかと持ちかけると少しやる気を出し、助けたらその後は協力してくれる事になった。シリウスが単身部屋に入り魔方陣を解除しようとする、うまく解除できたのか魔方陣は爆発したもののさほど大きい爆発ではなかった。

もう一つの Infernal Engine を探そうとしたところで、鐘の音が鳴り響いた。その音を聞いた解放仮面とスピントルは、混乱して前の部屋に走り出し、九層地獄の絵画を見てしまう。ジェイコブと同じ妄想に捕らわれ、スピントルは口に出すのは耐えたものの、解放仮面が口に出してしまう。

すると実際にアスモデウスが襲ってくる Illusion に捕らわれ、解放仮面はショック死してしまった。Raise Dead の Scroll で蘇生し、WIS が下がってしまったが休んでいる暇も無いのでそのまま先に進むことにする。

アスモデウス神殿二階 - 二つ目の Infernal Engine

一度戻り、未探索のエリアを探索してみる。次の部屋は以前はアスモデウスの聖歌隊の控え室だったようで、下の階の礼拝堂の様子が見える。シェンセン達が Ice Devil などと戦っているが、さすがに劣勢のようだ。急がなければならないだろう。この部屋は今は物置のようになっており、部屋の隅には硬貨の山がある。きっと Blue Dragon の寝床だろう。

ここは二つの部屋につながっており、片方は Hell の壁画で飾られた礼拝堂、もう片方はバージライの私室のようだ。シリウスが先を調べようと単身礼拝堂に入って調べていると、前の部屋の床から半透明な人が 5 体ほど現れる。彼らは自分たちをエイローデンの神官だと名乗るが、そのまま襲いかかってきた。

応戦していると、奥から次々と援軍が来る。まずはノックスと半透明な馬。その後ろから Bone Devil。バージライの側近と言われてた奴らが来て嫌な予感がしていると、1 階から顔が緑色の Sorcerer が飛んでくるとほぼ同時に、後ろから見慣れた M 字ハゲ (バージライ) が現れた。カコルトクは今こそイズマラバシュに活躍してもらう時、と彼に Death Ward をかけて Negative Level を無効化するも、イズマラバシュは 4 本だけの Magic Missile を打ってみた直後、あまり役に立たないと悟ったようで謝りつつ帰って行った。

期待していたイズマラバシュが戦力にならない以上、一行だけで戦うしかない。ノックスは凝視を使ってくるも、足が遅くシリウスが食い止める。Bone Devil はジェイコブが Boots の魔力で踊らせ無力化。Sorcerer はコーディアが Dagger 投げであっという間に撃ち落とした。残るバージライも決めてになる攻撃方法は無かったようで、粘ったものの最後は解放仮面の矢で倒れた。

倒したバージライを剥いてみると、高価な Magic Item を大量に持っている。あっさりと倒れたようだが、本物のバージライだったのだろうか。生き返られては困るので、とりあえず死体ごと持って行く。

バージライの私室を漁ると、気になる本を発見した。邪悪な心臓抜きの儀式というものについて書かれていて、心臓を取り出し、マハザラのレリックである Soul Anchor というものに入れると寿命以外では死なない体になり、かつ輪廻転生の理から外れて他の生物に転生した後も記憶を保持する事ができるらしい。改めてバージライの死体を調べてみると、明らかに生きている傷ではないのに呼吸をしているように見えるし、胸のところには穴が開いていて心臓が無いようだ。墓地の地下でレリックが汚された、と言っていたのは、バージライの心臓が入れられた事なのだろうか。また、バージライの目的の一つは「知性ある土地」として転生することだとも聞いているので、それとも関係があるのかもしれない。

さらに調査をしようとする、一階のシェンセン達は撤退したようで Ice Devil などに襲われたが、特に問題なく撃退する。奥の部屋にはもう一つの Infernal Engine があり、中にはリレンドが捕らわれていた。先ほどと同じようにシリウスが魔方陣を Disable し、リレンドには自分の Plane にお帰りいただいた。

帰還

ひとまずの目的を果たしたところで、戦えるリソースも残りわずかとなったので一度撤退する事にした。

Lucky Bones に帰ると、陽動隊も帰っていた。相当苦戦したようで、シェンセンとオクタヴィオは死亡、残りも重傷を負ってしまったようだ。魔法で生き返らせる事はできるかもしれないが、呪文が無いためすぐに生き返らせる事はできない。明日の再突入は 6 人だけで行くしかないだろう。

バージライの私室から持って帰ってきた本を調べて心臓抜きのとどめの刺し方を調べると、死体を Disintegrate や大きいダメージで粉みじんにすればいいらしい。コーディアが死体をひたすらに切り刻むとバージライの呼吸は止まった。本当にこれでバージライを倒すことができたのだろうか？

次の日の朝、目覚めた時にはまだキンタルゴに悪魔は溢れ出ていなかった。まだメフィストフェレスは召喚されていないようだ。しかし、儀式がいつ完成するかは分からない。できるだけ早く儀式を止めなければならないだろう。

次回に続く…。